

台風19号に伴う豪雨における 白川ダム・寒河江ダムの効果について

～ 白川ダムによる水位低減効果 約0.82m ～
～ 寒河江ダムによる水位低減効果 約1.04m ～

白川ダム及び寒河江ダムでは、台風19号に伴う豪雨により、令和元年10月12日から13日にかけて、洪水が発生しました。

この洪水に対し、白川ダム及び寒河江ダムでは、流れ込む水を一時ため込んで下流河川の増水を低減させる※防災操作（洪水調節）を行いました。

白川ダムへの最大流入量は約440m³/s（昭和56年管理移行後、歴代2位）で、ダムにため込んだ水の総量は、約785万m³に達しました。（東京ドームを容器とすると約6.3杯分）

寒河江ダムへの最大流入量は約419m³/sで、ダムにため込んだ水の総量は、約1,128万m³に達しました。（東京ドームを容器とすると約9.1杯分）

この防災操作（洪水調節）により、白川ダムの下流河川の水位（樺地点）を約0.82m低減、寒河江ダムの下流河川の水位（西根地点）を約1.04m低減させる効果があったものと推測されます。

※防災操作（洪水調節）

ダムに流れ込む水を一時ため込んで下流河川の増水を低減させる操作のことで、白川ダム、寒河江ダムの場合、流入する水量が200m³/s以上の場合に実施

※歴代 最大流入量（白川ダム）

1位 平成18年7月15日洪水 461m³/s
2位 令和元年10月12日洪水 440m³/s（今回）
3位 平成14年7月10日洪水 434m³/s

※歴代 最大流入量（寒河江ダム）

1位 平成25年7月18日洪水 1,278m³/s
2位 平成25年7月22日洪水 724m³/s
3位 平成7年8月10日洪水 681m³/s
⋮
23位 令和元年10月12日洪水 419m³/s

【発表記者会：山形県政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158

副所長 後藤 浩志（内線204）

調査課長 片桐 真也（内線351）

電話 0237-75-2311（代表）

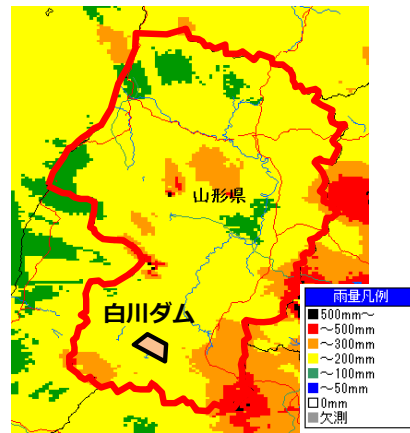
出水速報

最上川水系 白川ダムの効果（令和元年10月12～13日 台風19号に伴う洪水）

- 最上川水系置賜白川の白川ダム上流域において、10月11日18時頃から降り続いた雨は、13日7時までに**累加雨量が159mm**に達し、白川ダムでは**最大毎秒440m³**（10月13日1:30、歴代2位）の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、白川ダムでは約**785万m³**（※東京ドームで約6.3杯分）の水を貯め込み、下流河川の水位の低下を図りました。
- 白川ダムによって、ダム下流の**飯豊町椿地点（置賜白川下流基準地点）**で約**0.82m**の水位を低減させる効果があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

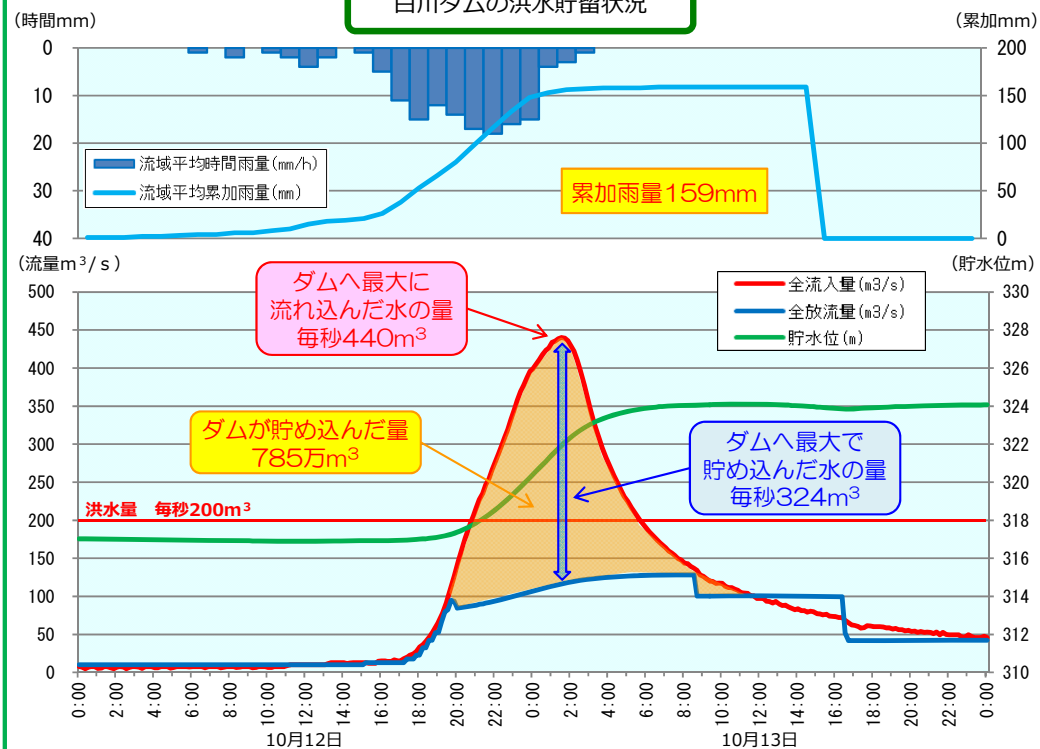
レーダー累加雨量
(10月11日18:00～10月13日7:00)



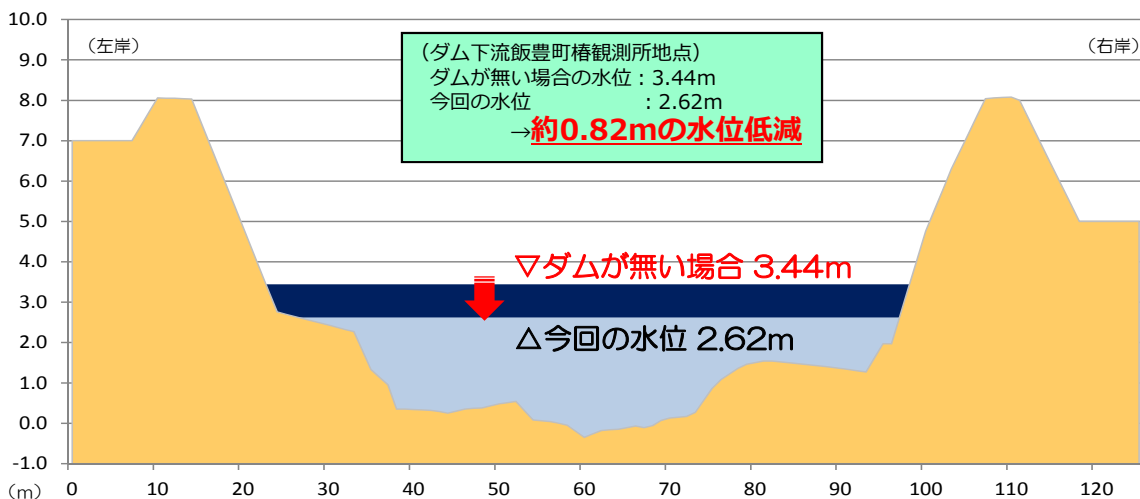
位置図



白川ダムの洪水貯留状況



置賜白川における水位低減効果



白川ダム貯水状況



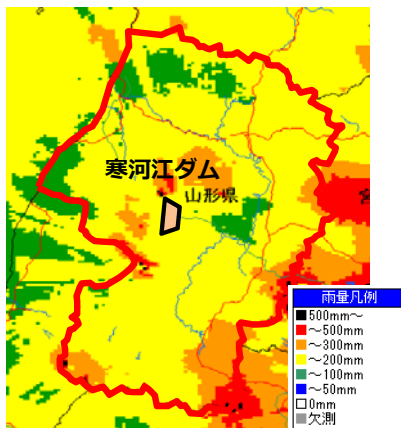
出水速報

最上川水系 寒河江ダムの効果（令和元年10月12～13日 台風19号に伴う洪水）

- 最上川水系寒河江川の寒河江ダム上流域において、10月11日20時頃から降り続いた雨は、10月13日14時までに**累加雨量が143mm**に達し、寒河江ダムでは**最大毎秒419m³**（10月13日0:40）の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、寒河江ダムでは**約1,128万m³**（※東京ドームで約9.1杯分）の水を貯め込み、下流河川の水位の低下を図りました。
- 寒河江ダムによって、ダム下流の**寒河江市西根地点（寒河江川下流基準地点）**で**約1.04m**の水位を低減させる効果があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

レーダー累加雨量
(10月11日20:00～10月13日14:00)

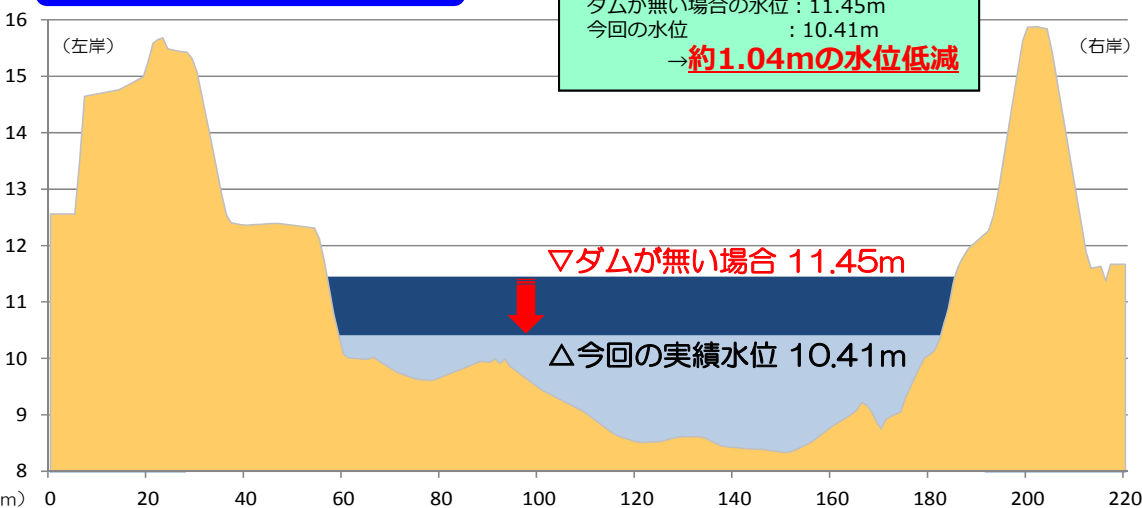


位置図

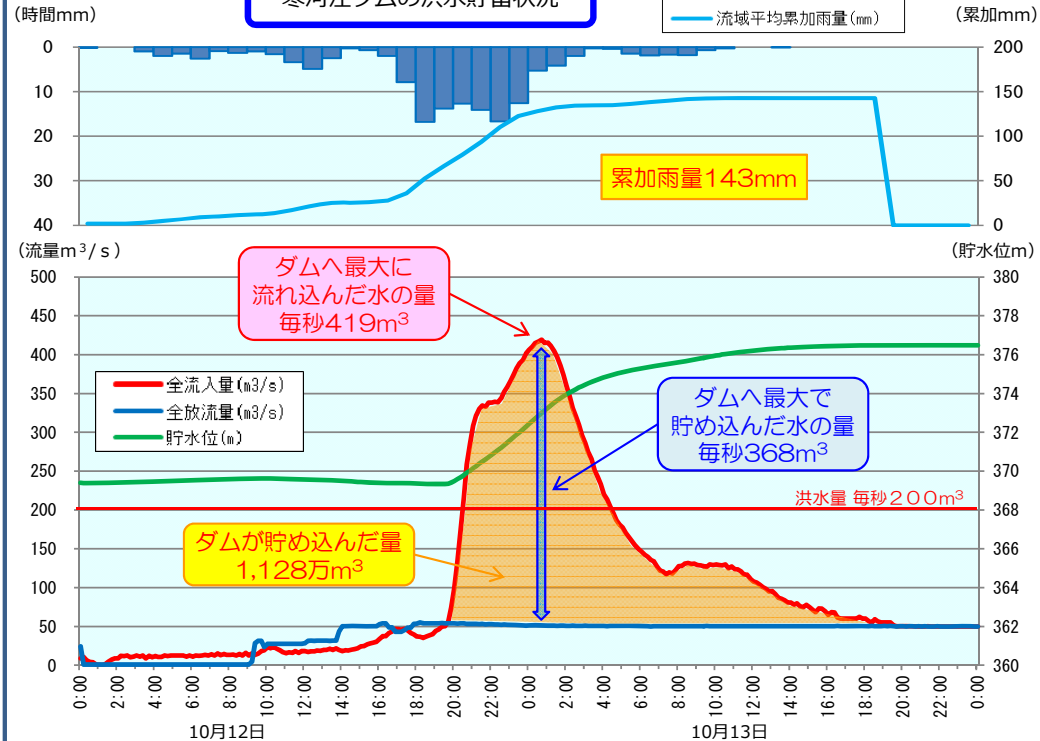


寒河江川における水位低減効果

(ダム下流寒河江市西根観測所地点)
ダムが無い場合の水位：11.45m
今回の水位：10.41m
→**約1.04mの水位低減**



寒河江ダムの洪水貯留状況



寒河江ダム貯水状況

